

## 九州工業大学の近況（H28.10～）について

九州工業大学学長 尾家 祐二

- **新年のご挨拶 ～2017年 新年に想う～（別紙1参照）**
- **H28年度12月学位授与式を挙行**
  - ・H28.12.27（金）11時～ @戸畑キャンパス2階会議室
  - ・3名（大学院博士後期課程2名）※うち留学生2名
- **H28年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（文科省）に採択（採択は全国で4件）（別紙2参照）**
  - ・テーマ：IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業
  - ・研究代表者：佐藤 寧（九州工業大学イノベーション推進機構 教授）  
井上 創造（九州工業大学大学院工学研究院 准教授）
- **九工大・マレーシアプトラ大 国際合同シンポジウム（SAES2016）を開催（別紙3参照）**
  - ・H28.12.17-19の3日間、本学戸畑キャンパスにて開催。
  - ・H25に第1回が開催され今回で4回目（次回は今年12月にマレーシアにて開催予定）
  - ・日本、マレーシア、米国、韓国、メキシコ、トルコ、インドから約280名の研究者らが参加
- **超小型衛星「AOBA-Verox III」、宇宙空間へ放出（別紙4参照）**
- **H28年度 産学連携教育審議会を開催（別紙5参照）**
  - ・H26年度から始まり、今回で3回目
- **国際交流一覧（大学間等の組織的交流のみ）**
  - ・交流協定校である国立台湾大学、国立台北科技大学、国立台湾科技大学へ尾家学長が訪問（H28.9）
  - ・ラジシャヒ大学(バングラデシュ)の学長が本学を訪問（H28.11）
  - ・フランスのサンティエヌ国立高等鉱山学院とロレーヌ大学へ尾家学長が訪問（H28.11）
  - ・H28年度 国際友好の夕べを開催（H28.12）
  - ・九工大・マレーシアプトラ大国際合同シンポジウム(SAES2016)を開催（H28.12）
  - ・国立台湾科技大学との国際連携会議を開催（H28.12）
  - ・ニューヨーク市立大シティ校へ尾家学長が訪問し、国際交流協定を締結（H28.12）
- **受賞一覧**
  - 【学生】
    - ・ICT-ROBOT2016において最優秀学生論文賞を受賞（工学府機械知能工学専攻 M2 有田裕太）
    - ・電気学会 基礎・材料・共通部門大会にて優秀発表賞を受賞（工学府電気電子工学専攻 M1 前田健太）
    - ・国際会議CMD2016にて優秀発表賞を受賞（工学府電気電子工学専攻 M1 古賀嵩章）
    - ・電気学会 電力・エネルギー部門大会にてYPCポスター優秀賞を受賞（工学府電気電子工学専攻 M2 横道洲星）
  - 【教員・職員】
    - ・ICT・IoT・ユビクティブシステム研究会で優秀論文賞を受賞（工学研究院 井上創造 准教授）
    - ・電子情報通信学会 活動功労賞を受賞（情報科学センター 中村豊 准教授）
    - ・IOTS2016において優秀プレゼンテーション賞を受賞（情報科学センター 中村豊 准教授）
    - ・循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰を受賞（生命体工学研究科 白井義人教授 ※NPO 法人「こすみんず」）

## 2017 年 新年に想う

2017 年 1 月 4 日  
九州工業大学学長 尾家祐二

新年おめでとうございます。

昨年は、4 月に学長に就任し、国際連携協定の締結等のために 5 か国 8 大学を訪問しました。各大学の学長等とお会いし、連携の継続、さらなる強化について確認することができました。11 月末には、200 年の歴史を持つグランゼコール（フランスの高等教育機関）の一つであるサンティエンヌ国立高等鉱山学院を訪問した際に、隣町のリヨンの空港を経由しました。リヨン空港は、別名サン・テグジュペリ空港と呼ばれています。サン・テグジュペリといえば、「星の王子様」の次の一節を思い出される方も多いでしょう。「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目には見えないんだよ」。

目に見えないものの力については、多くの本で多くのことが語られています。明治時代、福沢諭吉は「学問のすすめ」の中で、「目見るべからず、耳聞くべからず、売買すべからず、貸借すべからず」「真にこれを文明の精神というべき至大至重のものなり。けだしその物とはなんぞや。いわく、人民独立の気力、すなわちこれなり」と述べています。また、村上春樹著「海辺のカフカ」では、次のように。「すべては想像力の問題なのだ。僕らの責任は想像力の中から始まる。イエーツが書いている。In dreams begin the responsibility — まさにそのとおり。逆にいえば、想像力のないところに責任は生じないのかもしれない。」小川洋子著「博士の愛した数式」では、数学者である博士との会話の中で。「『真実の直線はどこにあるか。それはここにしかない。』博士は自分の胸に手を当てた。虚数について教えてくれた時と同じだった。」数学では直線は無限に延びるものとして定義されており、それは、想像の中にしか存在しません。経済の分野でも、ユヴァル・ノア・ハラリ著「サピエンス全史—文明の構造と人類の幸福」において、「2006 年に全世界の貨幣は合計約 473 兆ドルだったが、硬貨と紙幣の総額は 47 兆ドルに満たない。貨幣の合計の 9 割以上（私達の会計簿に記載されている 400 兆ドル以上）は、コンピュータのサーバ上にだけ存在する」ことが指摘されています。貨幣への信頼等に基づき、情報システム上でお金が動いています。抽象的な理論、制度、組織も含み、目に見えないもの、触知できないものが、実際に、私達の社会活動等と繋がり、それらを動かしていることに気づきます。

新たな 1 年を想うとき、未来は過去、現在の延長線上にあるというより、新たに築いていくものであると感じ、その未来に関わるためには、目には見えませんが、築きたい未来への想像力と、それを実現する意志力が必要になると考えます。

この 1 年、学内の想像力とそれを実現する意志力を集め、学内外の方々、国内外の多様な組織との相互作用を通し、学術及び社会の発展に貢献する活動を推進したいと思います。

皆様方にとりまして、今年が、多くのよき機会に恵まれ、実り多き年となりますようにお祈りいたします。本年も何卒よろしく申し上げます。



## 学内外における様々なネットワークと独自の実行力を 駆使して九州工業大学の質を高める

各構成員の力を、組織の力にするための取組みを推進

各構成員が有するネットワークは財産であり、それを本学のネットワーク力に  
活かし、同時に、本学ネットワーク力を各構成員が活用できる施策の展開

教育及び研究活動において、実績を挙げ、変化し続けることができる独自の  
実行力を、組織的に支援、推進する施策の展開

1

## 第3期 2016年の主な取組み



対話

- 社会との対話の一環として、記者懇談会を新たに設け、3か月に1度程度の頻度で開催し、公式ホームページの「学長室より」にも内容を掲載
- 経営協議会にて、研究、学生プロジェクトの成果等を教員、学生が直接報告
- 「学長室だより」を約3か月おきに発信し、「学長室より」に掲載

ネット  
ワーク

- 高専(工業高等専門学校)もしくは海外の大学に勤務している本学OBとの共同研究を支援する制度を設け、今年度公募を行い、支援を開始

研究

- 海外大学との研究連携を強化するために、国際共同研究推進を目的とした博士研究員の公募を行い、支援を決定
- 研究成果の発信力を高めるために、リポジトリ登録推進のため係員増員
- 産学連携研究の推進のための「共同研究講座」制度新設
- マレーシアプトラ大学(UPM)との第4回共同シンポジウムを本学で開催

教育

- 四学期制(クォーター制)全学導入、教養教育院の設置(教養教育改革の実施:グローバル教養教育、英語習熟度別教育の設計)、グローバル・エンジニア養成コース受講登録開始
- 産学連携教育審議会開催. 学生による海外研修成果発表
- 海外派遣の促進、量的、質的拡大(H26:393名、H27:430名、H28:500名(予定)) 2016年はErasmus+元年。ロレーヌ大学へ4名の学生を半年派遣

環境

- 男女共同参画推進室を設置し、様々な聞き取り調査を基に、土日休日勤務に関する改善等を決定. 事務職員、技術職員の意識等調査アンケート実施

青字は国際関係

2



### 世界に広がるキャンパス

グローバル環境で活躍し続ける人材育成、  
世界とともに、世界に出て行う研究

国際

- 学長レベルで連携の継続・発展を確認した大学と組織的連携を強化
- 本年、大学間共同研究支援制度創設、実施
- 海外に国際共同教育研究講座等設置検討

教育

- GCE教育を充実、成果を発信し、産学連携で教育の質保証を確認
- 来年度500名程度(大学院前期1学年定員9割)が海外派遣を経験
- Erasmus+等により、2か月以上滞在者を50名以上へ

研究

- 来年度内に、産学連携による共同研究講座を設置
- 国際的研究拠点形成事業を行い、5件程度を支援
- 合計で、博士研究員10名を採用し、国際共同研究等を強化

3



### 対話するキャンパス

様々な対話を通じて、相互理解を深め、改善の機会を作る

社会との対話の一環として報道機関との定期的な懇談の継続実施  
各部局での懇談、部局間の懇談など、学内における対話の機会の創出

### オープンなキャンパス

本学の教育、研究、社会貢献活動を広く、情報発信し、理解を促進

SNS等の新たなツールの活用

高校生を対象とした説明会等の開催地拡充

4



## 誇りを持ち、活力あふれるキャンパス

ワーク・ライフ・バランス推進の視点から、教育・研究環境、就業環境の整備を促進し、すべての職員にとって働きやすい環境づくりを目指す。

本年、休日出勤となる入試監督業務等の分担の改善を実施  
本年、在宅勤務制度の導入、実施  
構成員の意識等調査に基づく、組織、環境改善の実施

5

## 結び



大学は、知らないことを学ぶ場所であり、新たな知を生み出す場所である。学生だけでなく、職員を含めて、学ぶ意欲にあふれ、知恵を生み出す場でありたい

学ぶ意欲、知恵を生み出す能力が大学の原動力

知を繋ぎ、知で繋ぎ続ける九州工業大学

繋がり、広がる九州工業大学

皆様にとって、本年が、多くの良き機会に恵まれ、  
実り多き年でありますようお願いいたします。  
今年もよろしくお願い致します。

6

九州工業大学 > TOPICS > 本学の事業が「平成28年度地...

**学長室より**

**工学部**  
(戸畑キャンパス)  
サテライトサイト

**情報工学部**  
(飯塚キャンパス)  
サテライトサイト

**生命体工学研究科**  
(若松キャンパス)  
サテライトサイト

**MSSC**  
海外拠点

大学にご寄附をお考えの方へ  
九州工業大学基金

**教育の取り組み**

グローバル・コンピテンシー  
**Global Competency for Engineer**  
国立大学改革強化推進事業

**各種情報**

**インターネット出願**

**入試資料請求**

**研究者紹介**

**教職員の公募**

**男女共同参画推進室**

**マイナンバー**

**キャンパスマップ・交通案内**

## 本学の事業が「平成28年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文科省)」に採択されました

更新日:2016.10.06

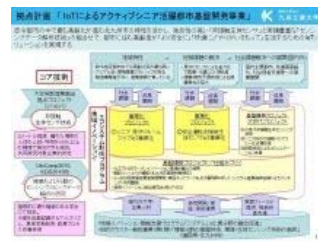
文部科学省が地域科学技術振興施策として公募した「平成28年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に、本学が提案した「IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業」(自治体:北九州市)が採択されました。今回は、提案件数32件の中から本学を含めて4件が採択されています。

テーマ: IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業

代表者: 佐藤 寧 教授 (九州工業大学 イノベーション推進機構 若松分室)  
井上 創造 准教授 (九州工業大学 大学院工学研究院)

概要: 本事業では、政令都市の中で最も高齢化が進む北九州市の特性を活かし、本学が開発した技術として独自性の高い「非接触生体センサ」と活用実績が豊富な「センシングデータ解析技術」の組合せで、都市に住む高齢者が「より安全に」「快適に」「やりがいをもって」生活するためのIoTソリューションを実現することを目指しています。また、この技術を実用化するために、多くの研究機関が集積している北九州学術研究都市に九州工業大学発ベンチャー「ひびきの電子株式会社」を設立し、高齢者の見守りや健康管理、自動運転など多岐にわたる分野でIoT関係の周辺企業等との連携を推進します。

◇文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」[ウェブサイトはこちら](#)



詳細についてはこちらをご参照ください

関連するカテゴリー一覧へのリンク

研究・産学連携

一覧へ

このページのトップへ

### 大学案内

[基本理念・基本方針](#)  
[大学概要](#)  
[取り組み・活動](#)  
[法定公開情報](#)  
[情報公開・個人情報保護](#)  
[広報](#)  
[基金](#)  
[創立100周年記念事業](#)  
[同窓会・シニアアカデミー](#)  
[施設利用案内](#)  
[公募・採用情報](#)  
[教職員への業務依頼](#)  
[リンク](#)  
[お問い合わせ](#)

### 学部・大学院

[\[学部\] 工学部](#)  
[\[学部\] 情報工学部](#)  
[\[大学院\] 工学府](#)  
[\[大学院\] 情報工学府](#)  
[\[大学院\] 生命体工学研究科](#)

### 研究・産学連携

[研究者情報](#)  
[産学官連携制度](#)  
[産学連携活動](#)  
[研究支援制度](#)  
[知的財産活動](#)  
[ベンチャー支援](#)

### 図書館・センター等

[図書館・ミュージアム](#)  
[サテライトキャンパス・サテライトオフィス](#)  
[機構等](#)  
[センター等](#)

### 国際・地域交流

[国際化の基本方針](#)  
[国際戦略](#)  
[国際交流協定校](#)  
[国際交流プログラム](#)  
[英語で受講可能なマスター・ドクターコース\(大学院\)](#)

### 教育・学生生活

[教務情報](#)  
[教育に関する機関](#)  
[授業料・奨学金等](#)  
[学生支援](#)  
[福利厚生](#)  
[課外活動](#)  
[相談窓口](#)  
[危機管理](#)

### 入試

[\[学部\]工学部・情報工学部](#)  
[\[学部\]オープンキャンパス・進学説明会](#)  
[\[大学院\]共通](#)



九州工業大学 > TOPICS > 九工大・マレーシアブトラ大...

**学長室より**

工学部  
(戸畑キャンパス)  
サテライトサイト

情報工学部  
(飯塚キャンパス)  
サテライトサイト

生命体工学研究科  
(若松キャンパス)  
サテライトサイト

MSSC  
海外拠点

大学にご寄附をお考えの方へ  
九州工業大学基金

教育の取り組み

グローバル・コンピテンシー  
Global Competency for Engineer  
国立大学改革強化推進事業

各種情報

インターネット出願

入試資料請求

研究者紹介

教職員の公募

男女共同参画推進室

マイナンバー

キャンパスマップ・交通案内

## 九工大・マレーシアブトラ大学国際合同シンポジウム(SAES2016)を開催しました

更新日:2016.12.28

2013年に第1回が始まり毎年開催されている本学とマレーシア・ブトラ大学(UPM)との国際合同シンポジウムの第4回目(The 4th Symposium on Applied Engineering and Sciences : SAES2016)が12月17日~19日の3日間に渡り、本学の戸畑キャンパスにて開催されました。

プレナリーセッション、基調講演、オーラル発表、ポスター発表の他、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムの成果報告セッション(SATREPSセッション)、持続可能な環境・社会のための国際技術連携ワークショップ、日馬科学技術イノベーションネットワークセッション(JETRO北九州、九州経済連合会との共催)も同時開催され、日本、マレーシアのみならず、米国、韓国、メキシコ、トルコ、インドからの研究者も多数参加し、参加人数は過去最大の280名を超える規模となりました。

今回より北九州市及び(公財)西日本産業貿易コンベンション協会にも協賛いただいたことを含め、北九州の企業訪問・工場見学(エクスカージョン)や北九州市の環境対策技術の紹介なども行い、北九州に生まれ、北九州近郊及び全国の産業界に貢献する人材を輩出してきた歴史を有する本学の特色を活かした国際合同シンポジウムとなりました。

第5回はマレーシア・ブトラ大学を会場に2017年12月に開催されることが決定されました。



開会の挨拶(尾家学長)



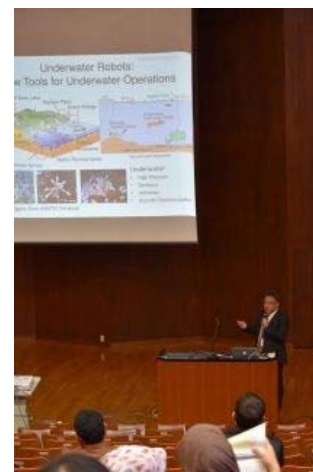
レヌ一副学長(UPM)の挨拶



平木講義教授によるプレナリー講演



Yusof教授(UPM)によるプレナリー講演



石井和男教授によるプレナリー講演



SATREPSセッション





白井義人教授によるプレナリー講演



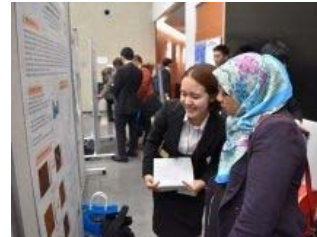
オーラルセッション1



オーラルセッション2



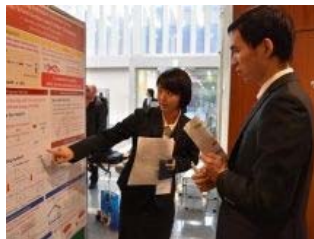
日馬日馬科学技術イノベーションネットワークセッション



ポスター発表1



持続可能な環境・社会のための国際技術連携ワークショップ



ポスター発表2



ポスター発表3



閉会式

関連するカテゴリー一覧へのリンク

国際

一覧へ

このページのトップへ

## 大学案内

基本理念・基本方針  
大学概要  
取り組み・活動  
法定公開情報  
情報公開・個人情報保護  
広報  
基金  
創立100周年記念事業  
同窓会・シニアアカデミー  
施設利用案内  
公募・採用情報  
教職員への業務依頼  
リンク  
お問い合わせ

## 就職・進路

就職に強い九工大の就職実績  
就職・進学先一覧  
就職に強い九工大の充実した就職支援  
キャリア支援

## 学部・大学院

[学部] 工学部  
[学部] 情報工学部  
[大学院] 工学府  
[大学院] 情報工学府  
[大学院] 生命体工学研究科

## 研究・産学連携

研究者情報  
産学官連携制度  
産学連携活動  
研究支援制度  
知的財産活動  
ベンチャー支援  
ソフトウェアの活動  
依頼測定  
政府共通研究開発管理システム(e-Rad)  
お問い合わせ

## 図書館・センター等

図書館・ミュージアム  
サテライトキャンパス・サテライトオフィス  
機構等  
センター等

## 国際・地域交流

国際化の基本方針  
国際戦略  
国際交流協定校  
国際交流プログラム  
英語で受講可能なマスター・ドクターコース(大学院)  
外国人留学生支援  
科学教育事業  
一般向け講座等

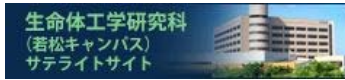
## 教育・学生生活

教務情報  
教育に関する機関  
授業料・奨学金等  
学生支援  
福利厚生  
課外活動  
相談窓口  
危機管理

## 入試

[学部]工学部・情報工学部  
[学部]オープンキャンパス・進学説明会  
[大学院]共通  
[大学院]工学府  
[大学院]情報工学府  
[大学院]生命体工学研究科  
[大学院]オープンキャンパス  
研究生・科目等履修生・聴講生  
[学部・大学院共通]検定料の返還手続き  
インターネット出願

九州工業大学 > TOPICS > 超小型衛星「AOBA-VeroxⅢ」が...



教育の取り組み

グローバル・コンピテンシー  
Global Competency for Engineer  
国立大学改革強化推進事業

各種情報

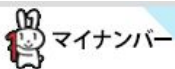
インターネット出願

入試資料請求

研究者紹介

教職員の公募

男女共同参画推進室



キャンパスマップ・交通案内

## 超小型衛星「AOBA-VeroxⅢ」が宇宙空間へ放出されました

更新日:2017.01.25

本学の「学生創造学習支援プロジェクト」として開発され、無人補給機「こうのとりのり」6号機により国際宇宙ステーションへ運ばれていた「PPT実証衛星 AOBA-VeroxⅢ」が、2017年1月16日(月)、無事国際宇宙ステーションから放出されました。

当日はパブリックビューイングが行われ、宇宙空間への放出の様子が、JAXAウェブサイトにてライブ中継されました。

今後「AOBA-VeroxⅢ」は、宇宙環境下で今回のミッションである放射線耐久試験を行います。

◆ISSからの超小型衛星『AOBA-VeroxⅢ』放出の様子は[こちらから\(JAXAウェブサイト\)](#)



パブリックビューイングの様子

関連するカテゴリー一覧へのリンク

教育・学生生活

一覧へ

このページのトップへ

### 大学案内

基本理念・基本方針  
大学概要  
取り組み・活動  
法定公開情報  
情報公開・個人情報保護  
広報  
基金  
創立100周年記念事業  
同窓会・シニアアカデミー  
施設利用案内  
公募・採用情報  
教職員への業務依頼  
リンク  
お問い合わせ

### 学部・大学院

[学部] 工学部  
[学部] 情報工学部  
[大学院] 工学府  
[大学院] 情報工学府  
[大学院] 生命体工学研究科

### 研究・産学連携

研究者情報  
産学官連携制度  
産学連携活動  
研究支援制度  
知的財産活動  
ベンチャー支援

### 図書館・センター等

図書館・ミュージアム  
サテライトキャンパス・サテライトオフィス  
機構等  
センター等

### 国際・地域交流

国際化の基本方針  
国際戦略  
国際交流協定校  
国際交流プログラム  
英語で受講可能なマスター・ドクターコース(大学院)

### 教育・学生生活

教務情報  
教育に関する機関  
授業料・奨学金等  
学生支援  
福利厚生  
課外活動  
相談窓口  
危機管理

### 入試

[学部]工学部・情報工学部  
[学部]オープンキャンパス・進学説明会  
[大学院]共通

**学長室より**

工学部 (戸畑キャンパス) サテライトサイト

情報工学部 (飯塚キャンパス) サテライトサイト

生命体工学研究科 (若松キャンパス) サテライトサイト

MSSC 海外拠点

大学にご寄附をお考えの方へ 九州工業大学基金

教育の取り組み  
グローバル・コンピテンシー  
Global Competency for Engineer  
国立大学改革強化推進事業

各種情報

インターネット出願

入試資料請求

研究者紹介

教職員の公募

男女共同参画推進室

マイナンバー

キャンパスマップ・交通案内

## 平成28年度産学連携教育審議会を開催しました

更新日:2016.12.19

平成28年12月5日(月)に戸畑キャンパス中村記念館において、産学連携教育審議会を開催しました。この会議は、民間企業等で採用や人材育成に携わっておられる要職の方におこしいただき、グローバル化が進展する社会で必要とされる人材像とその育成方法についてのご審議をいただき、本学が進めている教育改革に産業界からの意見を採り入れることを目的として開催しています。今回は、安川電機、日立製作所、西部技研、パナソニック、アイシン精機、トヨタ自動車九州から、ご参加をいただき審議を行いました。

今年度設置した教養教育院の教育改革、グローバル教育としての海外研修、学生の海外研修報告、産業界と大学教育との連携についてなど、対話等も交えながら、教育成果や産業界との連携についてなど、貴重なご意見をいただきました。

本審議会は、来年度以降も継続的に開催する予定です。



尾家学長による開会の挨拶



教養教育院設置に関する西野院長の説明



熱心に耳を傾ける委員



熱心に質問する委員



学生による海外派遣の報告

関連するカテゴリー一覧へのリンク

教育・学生生活

一覧へ

このページのトップへ

### 大学案内

- 基本理念・基本方針
- 大学概要
- 取り組み・活動
- 法定公開情報
- 情報公開・個人情報保護
- 広報
- 基金
- 創立100周年記念事業
- 同窓会・シニアアカデミー
- 施設利用案内
- 公募・採用情報
- 教職員への業務依頼
- リンク
- お問い合わせ

### 学部・大学院

- [学部] 工学部
- [学部] 情報工学部
- [大学院] 工学府
- [大学院] 情報工学府
- [大学院] 生命体工学研究科

### 研究・産学連携

- 研究者情報
- 産学官連携制度
- 産学連携活動
- 研究支援制度
- 知的財産活動
- ベンチャー支援

### 図書館・センター等

- 図書館・ミュージアム
- サテライトキャンパス・サテライトオフィス
- 機構等
- センター等

### 国際・地域交流

- 国際化の基本方針
- 国際戦略
- 国際交流協定校
- 国際交流プログラム
- 英語で受講可能なマスター・ドクターコース(大学院)

### 教育・学生生活

- 教務情報
- 教育に関する機関
- 授業料・奨学金等
- 学生支援
- 福利厚生
- 課外活動
- 相談窓口
- 危機管理

### 入試

- [学部]工学部・情報工学部
- [学部]オープンキャンパス・進学説明会
- [大学院]共通

## 九州工業大学産学連携教育審議会 名簿

【九州工業大学産学連携教育審議会規則 第3条8号の委員】（50音順）

		現 職	氏 名
学 外 委 員	1	株式会社 安川電機 執行役員 人事総務部長	生山 武史
	2	株式会社 日立製作所 人事教育総務センタ採用グループ部長代理	大竹 由希子
	3	株式会社 西部技研 代表取締役社長	隈 扶三郎
	4	独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事長	黒木 啓介
	5	パナソニック 株式会社 全社C T O室 技術人材戦略部（兼）先端研究本部 人事総務部 部長	中尾 類
	6	トヨタ自動車九州株式会社 取締役 総務部担当 人財開発部長	中島 昭
	7	アイシン精機 株式会社 人事部 部長	中村 武司

【九州工業大学産学連携教育審議会規則 第3条1号～7号の委員】

		現 職	氏 名
学 内 委 員	1	教育高度化推進機構長 理事・副学長（教育・学生担当）	鶴田 隆治
	2	教育企画室長 工学研究院 物質工学研究系 教授	恵良 秀則
	3	学習教育センター長 情報工学研究院 生命情報工学研究系 教授	坂本 寛
	4	教養教育院長 教養教育院 人文社会系 教授	西野 和典
	5	副工学研究院長 工学研究院 基礎科学研究系 教授	中尾 基
	6	副情報工学研究院長 情報工学研究院 知能情報工学研究系 教授	平田 耕一
	7	副生命体工学研究科長 生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 教授	夏目 季代久